

## R3淀川水害協首長会議 基調講演

発出元 → 発出先

## 基調講演 藤森涼子氏 「淀川チャネルと最近の気象」

- ・気象予報士 日テレNEWS24気象キャスター
- ・環境省 地球温暖化防止トップコミュニケーター・トレーナー
- ・日本オリンピック委員会(JOC)スポーツ環境専門部会 部会員
- ・環境省「気候変動アクション環境大臣表彰」令和3年度 選考委員
- ・特定非営利活動法人気象キャスターネットワーク 元理事長



- ・全国の災害及び最近の気象とあわせて、淀川チャネルという淀川沿いに発生しやすい降雨帯について、講演をいただきます。
- ・平成29年に高槻市内で開催した大塚切れ100年シンポジウムでも講演いただいたこともあり、今回首長会議でも最近の気象について、現役の気象キャスターからご講演いただきます。

NPO法人気象キャスターネットワーク 理事長 藤森 涼子 氏

天気に興味をもって  
危険のサインを察知して

地球温暖化が進んでいます。地球温暖化が進むと空気中に雨の元となる水蒸気がたくさん含まれ、雨雲が発達しやすく、大雨が降りやすくなります。淀川は過去にいろいろな水害が起こっていますが、水害が起こっているところは元々水害が発生しやすい場所です。それは土地の高さ、低さというのがありますが、上昇気流が起こり、雨雲が発達しやすい場所なんです。それを覚えておいていただきたいです。

その上で皆さんにお伝えしたいのは、ぜひ天気予報を見てくださいということ。普段から外に出て、雲の色や空気が湿っているな、何ミリぐらいの雨なのかなと天気に興味を持っていただくことで、いつもと違うと危険のサインを察知することができます。天気予報は生ものです。「一日三回天気予報を見よう」ということで、常に最新情報を見るようにしてください。

平成29年大塚切れ100年  
シンポジウムパンフレットより